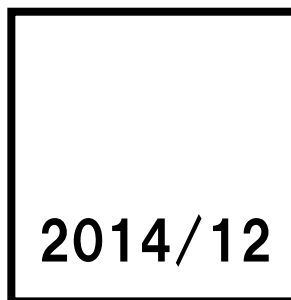




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
 全国有数の〈社史コレクション〉を  
 さらに活用していただくため、  
 社史の使い方や、社史の楽しさ、  
 社史情報などをお届けしていきます。



おなじみのCMソングやフレーズはど  
 うやって生まれたのでしょうか。そんなこ  
 とを社史で調べてみたら面白いかもと思  
 い、いくつか紹介させていただきます。

ただし、許諾が複雑になるので、あえて  
 歌詞は書きません。記憶の中で「あの曲か  
 なあ」と思い浮かべながら、読んでいただ  
 ければ幸いです。

○  
 しあわせ少女で有名な、仏壇事業などを  
 営む、はせがわのCM。手のしわを合わせ  
 る話は、奈良・薬師寺の管主・高田好胤師  
 との付き合いから生まれました。江戸時代  
 の古謡にも歌われていて、好胤師も法話の

中でしばしば引用していたといえます。C  
 Mに使うことを、好胤師に相談したとこ  
 ろ、快諾を得たそうです。

1980年、まずCMは九州地区で放送  
 され話題となりました。関東地区の放映料  
 は高額のため躊躇もあったそうですが、1  
 985年から放送したところ、爆発的な効  
 果があり、関東地区で一気に黒字に転換  
 し、はせがわは全国的に知られるようにな  
 りました。また、このCMは仏壇業の興隆  
 のため同業者にも貸与され、社名だけ変え  
 て放送されたこともあったそうです。はせ  
 がわの社史『受け継ぐ心』のち『明日へ』  
 (2013年刊行) から紹介しました。

○  
 1978年、アート引越センターでC  
 Mソングを作ろうというアイデアが浮か  
 びました。歌詞は自分たちで考えました  
 が、作曲は手に負えなかったので専門家に  
 依頼しました。こうして、電話番号を入れ  
 たCMソングが生まれました。

覚えやすく電話番号を交えたCMの効  
 果は絶大で、引越し依頼の電話が急増し  
 ました。なかには、同業者からと思われる  
 探りのような電話や関連業者からの売り  
 込みもあったそうです。また子どもからの  
 いたずら電話にも悩まされたそうです。電  
 話口でたどどしく歌うのなら笑えるの  
 ですが「今すぐ、見積りに来て」などとい  
 う子どもの声には多少閉口したそうです。  
 以上は『アートコーポレーション株式会社  
 30年史』(2006年刊行) から。

(裏面に続く)

# 有名なCMの誕生史

(表面から続く)

でん六豆のCMソング「でん六豆のうた」は1964年に生まれました。歌手はCMソングの女王といわれた天地総子さんでした。この明るく元気なメロディーの「でん六豆のうた」と、同時期に登場したクマのキャラクターのでんちゃんに親しまれ、東北地方を中心に爆発的に売れていきました。同社の社史『豆を究める』(2003年刊行)にはメディアを活用した、さまざまな販売戦略が載っています。また、コラムでは社員の間で歌い継がれている村田英雄「王将」の替え歌「豆の王将でん六」なども紹介されていました。

○ 神奈川県ではおなじみの崎陽軒のシウマイ。

1968年に60周年を迎えた際、20分のPR映画「シウマイに夢をのせて」と、旅の思い出をテーマにしたCMソング「シウマイ旅情」を発表しました。本来、「シウマイ旅情」は社歌だったようですが、CMとして放送したところ予想以上の反響がありました。このCMソングの一節が、現在でもよく耳にするフレーズになったそうです。崎陽軒の社史『横浜と共に一世紀』(2008年刊行)の「会長が語る崎陽軒の一世紀」の章などから紹介しました。

(科学情報課・高田)

### ◎第19回(2014年)優秀会社史賞が発表◎

一般財団法人 日本経営史研究所が2年に一度、発表している優秀会社史賞が、発表されました。今回は以下の3点が選ばれました。

- ・『群馬銀行八十年史』『ぐんぎん 80年のあゆみ』
- ・『太陽ホールディングス60年のあゆみ 歴史篇』『同 資料篇』
- ・『三井住友銀行十年史』

いずれも当館で所蔵していますので、ぜひ、ご覧ください。

また、賞の詳細については、日本経営史研究所のホームページをご覧ください。

<http://www.jbhi.or.jp/>

今年も一年間、ありがとうございました。この「社楽」では、干支の馬に関する社史にはじまり、いろいろな切り口で、社史の魅力を取り上げることができました。社史関係の催事では6月末に初の社史フェアを開催しました。「社史ができるまで講演会」も6回、開催することができました。

来年も、いろいろ活動していきたいと考えています。とくに、今号のテーマのCMのように「社史といえば神奈川県立川崎図書館」となるよう、もっともっとPRしていければと思っています。

来年もよろしく願い申し上げます。よいお年をお迎えください。

(社史担当一同)

### ●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>